

## 彦西生「いいことしてるやん」

昨日は彦根行動。3人が宣伝カーに乗り込み、午後1時から6時まで、彦根西高の周辺と旧市街地を「彦根西高を存続させましょう」のテープを流して回りました。8カ所で停車し、近所にチラシを配布しながら、スポット演説を行いました。6時から1時間は駅前で行動。高校統廃合に対する市民の思いがびんびん伝わる行動でした。



彦根西高の近くで、演説していると、ひとりの女性が車で寄ってきて、笑顔で挨拶。

大藪町の団地で演説。若いお父さんとお母さんが代わるがわる出てきました。「迷惑かな」と気にしていると、話が終わると挨拶をしてくれました。ホッと、嬉しい気持ちになりました。

### パリヤ前のリアクション

大藪町のパリヤ前では、いろんなリアクションがありました。自転車の高校生4人にチラシを渡しながらか「生徒は増えるのに西高をつぶすんや」と説明すると、高校生は「いいことしてるやん」と、私たちの行動を「評価」。その生徒たちは、演説に対して「頑張って」と手を振りながら去っていきました。

同じ場所で、70歳を超えると見られる男性にチラシを渡す。

男性「知事はもったいないと言って学校をつぶすのか。理解できん」と一言。

車の運転手5～6人が、演説者に手を振って答えました。

### 彦根南駅前 話が終わると丁寧に黙礼

彦根南駅前で行動していると、最初から最後までじっと聞いている男性がいました。話が終わると、丁寧に黙礼をして立ち去りました。「頑張ってください」という心が伝わってきました。

彦根翔陽につながる道路で、テープを流していると、翔陽の生徒が拳を上げてエールを送ってくれました。気をよくし、予定を変更して翔陽の校門前に回ると、

## 翔陽生 こぶしを上げてエール

校庭で練習をしていたプラスの生徒たち10数人が、一斉に手を振ってくれました。

彦根駅前「彦根西高を存続させましょう」と訴えながら、チラシを配って

「いつも先生が頑張ってるのに」と差し入れ

ました。教え子の40代の女性が「いつも先生が頑張ってるのに、本当は自分たちが行動せんとあかんのに」と言って、電車を待っている間に売店に入り、お茶とアイスコーヒーを差し入れてくれました。宣伝行動での差し入れは初めてです。「県は西高を廃校にする考え」と説明すると「そんなこと考えてるのか」と言う2人連れもいました。

駅前では、3人に1人程度が受け取り、各戸配布を含め、チラシ700枚を配布しました。「子どもが西高の卒業生だから」とチラシを取りに来る人もいました。

演説やチラシ配布に「頑張ってください」と声をかける人が10人を超えました。

総じて、統廃合計画に対する市民の反応は、これまでとは段違に敏感でした。この2年間の、特に昨年のとりのくみで、彦根市民の間に統廃合問題が相当に浸透し、強い関心を持っている様子が見て取れました。県が、この市民の思いを無視して強引な行動に出るなら、県行政への批判が強まるのは必至です。

高校統廃合は彦根市民の強い関心事  
「西高をつぶさないで」の思い 市民に浸透

ストップ高校統廃合速報 2012年度第10号

2012/7/6 県立高校の統廃合を考える会

077-522-4965 FAX 077-522-4978

(掲示・増し刷り・回覧などで全教職員にお知らせください)